

**フィデューシャリー・デューティー/スチュワードシップ責任に係る  
2019 年度取組状況及び 2020 年度取組方針について**

当社は、標記の件について、下記の通り公表いたします。

**1. 2019 年度 取組状況**

2019 年度取組方針	2019 年度取組状況
フィデューシャリー・デューティー／スチュワードシップ責任体制高度化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 情報共有及び審議枠組みの再構築並びに運用体制の拡充により投資委員会の実効性を向上</li> </ul>
コンプライアンス態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ コンプライアンスマニュアル等の大幅改定実施によりコンプライアンス管理態勢の実効性を向上</li> </ul>
企業文化醸成に向けた行動指針の策定及び役職員の相互理解・一体感を醸成させる活動の企画・推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ オフサイトミーティングを経て企業理念策定</li> <li>◇ フィデューシャリー・デューティー等に関する社内研修の実施</li> </ul>
不動産サステナビリティの積極的な推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 運用物件での BEMS 導入や先進的な節水の取組みの実施</li> <li>◇ GRESB リアルエステイト評価で「Green Star」、GRESB レーティングで「5 Star」を取得(いずれも最高位)</li> </ul>
グローバル投資本部における態勢高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ファンド投資に係る ESG 評価手引及びモニタリング手引を制定</li> <li>◇ インフラ・アセット投資運用部における ESG 取組方針策定及びステークホルダーとのエンゲージメントを考慮した投資判断の実施</li> </ul>
SDGs や TCFD に関する対応方針の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 健康経営に関する取組みの方向性について検討開始</li> <li>◇ TCFD 対応は継続検討</li> </ul>

参考:外部評価

◇ PRI 評価で「A」(戦略とガバナンス)、「A+」(不動産直接投資)、「A+」(ゲートキーパー)を取得

## 2. 2020 年度 取組方針

テーマ	2020 年度取組方針
態勢高度化	◇ 各業務の PDCA サイクルの明確化等による投資判断・期中管理能力の向上 ◇ サービスレベル向上に向けた業務プロセスの見直し
コンプライアンス態勢の強化	◇ 顧客担当部署における顧客保護・自主点検機能強化 ◇ 利益相反管理関係規程類の体系再整備
企業文化醸成	◇ FD/ESG 等の観点で優れた取組み・貢献を讃える仕組みの検討 ◇ FD 研修の拡充
ESG インテグレーション	◇ TCFD フレームワークの織り込みを含む各分野における ESG インテグレーションの高度化推進 ◇ 不動産サステナビリティの取組推進
従業員エンゲージメント	◇ With/after コロナを見据えつつ、働き方改革を含めたウェルネス向上への取組推進

以上